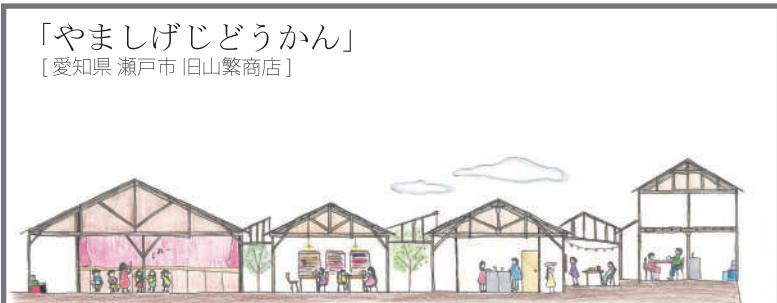


歴史的空间再編コンペティション2018
一次審査通過作品 四十選

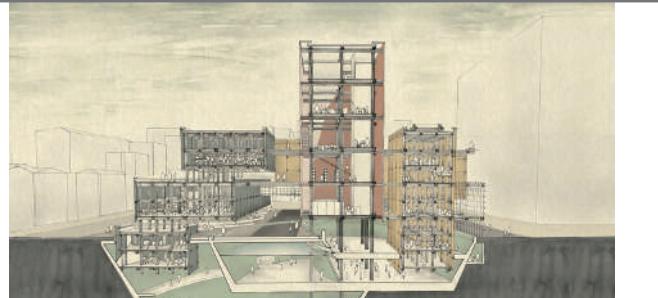
“歴史的空间の再編”というテーマに対して、場所や物事の歴史だけでなく、建築様式の歴史も含めた解釈がどのようになされ、バランスを取っているのか。そのような視点から、11月18日（日）の二次審査に進むべき作品を選出した結果、これら40作品がふさわしいと決定しました。

<p>「移ろいを導く —葭原とともに変容する道空間—」 [滋賀県 近江八幡市 西ノ湖]</p>  <p>昔から葭と共に暮らしを営んできた西ノ湖界隈。葭を扱うことに最適化された建築により、季節によって作業工程の葭と周囲の葭原と建築が創り出す空間が移り変わり、葭原の移ろいを感じる場が葭と人の関係を導く。この場所が積み重ねてきた葭原と人々の関係を再構築することで、移ろう景観が現われる。</p> <p>KSGP18003 柴田 樹人 Tatsuto Shibata  名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻</p>	<p>「やましげじどうかん」 [愛知県 瀬戸市 旧山繁商店]</p>  <p>愛知県瀬戸市では小中学校7校が統合される計画がある。これまで学校があつた地域では、廃校に伴い地域活動は減少すると考えられる。廃校する2つの学区に挟まれる、国登録有形文化財の旧山繁商店を児童館にコンバージョンすることで、スクールバスで通う児童や迎えに来る親たちの拠点となる。</p> <p>KSGP18016 大西 未紗 Misa Onishi  名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 建築都市領域</p>	<p>「間をゆわく -おちゃこ空間の展開による気仙 大工建築の再編-」 [岩手県 陸前高田市 長船崎]</p>  <p>岩手県陸前高田市周辺に、気仙大工という衰退している文化があります。私たちはこの地で現存する一人の大工と出会いました。彼へのヒアリング調査などから、気仙大工建築が歴史的に育んできた人と人を結び付ける空間を見出しました。その空間をなだらかにゆわき、新たな結びの空間として再編します。</p> <p>共同出展者 夏本 明彦 Akihiko Natsumoto 早稲田大学理工学術院 創造理工学研究科 建築学専攻 村上 航 Ko Murakami 早稲田大学理工学術院 創造理工学研究科 建築学専攻</p> <p>KSGP18023 松永 幹生 Mikio Matsunaga  早稲田大学理工学術院 創造理工学研究科 建築学専攻</p>
---	--	---

KSGP18024
内貴 美侑
Miyu Naiki



立命館大学大学院
理工学研究科
環境都市専攻
建築都市デザインコース



「時灯の井 一京を支える水の盆」 [京都府 京都市 中京区]
京都の地下には大量の良質な地下水が存在する。それらは、昔から京都の産業・文化・生活を支えてきた。しかし現在、地下水の存在は失われつつある。そこで地下水の頑在化を行うため、地下水を感じる「水ミュージアム」と京料理の研究に基づき「学び・伝え・振る舞い・住まう食の総合館」を提案する。

KSGP18025
畠山 拓也
Takuya Hatakeyama



九州大学大学院
人間環境学府
空間システム専攻

「靴が導く生業の環」 [兵庫県 神戸市 長田区]



靴の町、神戸・長田を再生したい。産業の転換や震災後の区画整理により、かつての長田の風景は消えつつある。ここに地域に点在する工程を結び、新たな公共性と回遊性をもつ試し履きの回廊を導入する。特有の生業が表舞台に現れた風景は長田の原風景でありながらも、新たな働き方として息づく。

「アーケードのうえの住稼」

[東京都 世田谷区 三軒茶屋十一番街商店会]

「住むこと、そして稼ぐこと」としての基盤がすでに整えられている商店街の存在に着目した。稼ぐことに直結したシステムではなく、商店の象徴となっているアーケードとそれに伴う住空間に新たな考え方を生み出す。住むことの豊かさが商店の豊かさにつながり稼ぐことにつながる。



共同出展者

岡田 希久枝 Kikue Okada 東京都市大学大学院 工学研究科 建築学専攻

KSGP18032
前芝 優也
Yuya Maeshiba



東京都市大学大学院
工学研究科
建築学専攻

KSGP18035
高橋 仙実
Hitomi Takahashi



金沢工業大学大学院
工学研究科
建築学専攻

「ウチウラ再紡 -鎖国を侵食するノマド童」

舞妓という生業を共有し、極めてクローズ性の高い疑似家族関係“ウチウラ”で結ばれていた花街宮川町。時代は流れ、余所者を拒む町は衰退の一途を辿る。町の補完関係を必要とする子供とその親を呼び込み、子供を町で育てる新たな疑似家族関係を紡ぎ、再びクローズさせ故の豊かさを持つ町へ再編する。



[京都府 京都市 東山区 宮川町・弓矢町]

KSGP18030
東浦 隆介
Ryuusuke Higashiora



関西大学大学院
理工学研究科
環境都市工学専攻

「領域再構 一住み継がれるまちのかたち」

[大阪府 富田林市 寺内町]



大阪府で唯一の重要伝統的建造物群保存地区である富田林寺内町。寺内町は町を囲む土居(土製の堤防状の垣)により定められた領域の中で伝統文化を形成してきた。しかし、市街化に伴い土居が失われたことで、町の領域と伝統文化が失われつつある。町の境界を再構築することでまちを守り、継承する。

「調停の屋根 一下町と再開発の共存」

[兵庫県 神戸市 兵庫区 東出町]



新たなマンションの開発が始まろうとしている神戸の下町を対象とし、「町に住んできた住民と新しく町に住み込む住人」「これまでの記憶とこれからの記憶」「下町と開発」といった様々に対立する関係をつなぎとめ、両者の関係がうまくすりあい調停された状態を目指す。

KSGP18042
森 大輔
Daisuke Mori



金沢工業大学大学院
工学研究科
建築学専攻